

ま、まは!!

「あなたのお陰で」

「兄弟よ、私はあなたの愛から多くの喜びと慰めを得ました。聖なる者たちの心が、あなたのお陰で元気づけられたからです。」

(フィレモンへの手紙 第1章7節・新約聖書390頁)

はじめに

パウロは教会や弟子を指導するためにいくつかの手紙を書いています。その一つがこの手紙です。ただ、フィレモンは信徒であり、弟子とは違う、パウロの慰労を込めた特別な励ましがそこにあつたと考えられます。

フィレモンとは

まずフィレモンの人物像に迫ってみましょう。19節に、パウロがオネシモの負債を返済するから、それで納得するようにと書いていますが、この時、パウロはフィレモンに「おまえは私に大きな借り、恩があるのを忘れるなよ」という簡単に断れない一言を放っています。このことから、パウロが直接信仰に導き、指導していた間柄であることがわかります。その後、彼は「あなたの家の教会へ」(2)とあるように、自分の家を教会とし、伝道するほど熱心な信徒となりました。コロサイの信徒への手紙に、「オネシモも一緒に行かせる」(4:9)とあるので、恐らく、経済的にも安定していたと考えられるフィレモンの家がコロサイ教会だったはずですが、コロサイはエフェソに近く、パウロがエフェソで伝道していた時に会った可能性が高いのですが、そうになると、信仰をもって数年となりますが、熱心で従順、さらに御言葉に忠実な模範的な信徒であったと言えるでしょう。

フィレモンへの励まし

手紙の主旨は、フィレモンの家で働いていたオネシモが、何か事情があつたのでしょうか、金品、または家財を盗んで逃げてしまいます。し

かし、後悔し、自分も話を聞いていたパウロを頼ってローマに行き、パウロに諭されて悔い改める、そこでオネシモをもう一度あなたの家で働かせてくれとの依頼書です。

ただ、事務的な依頼書ではなく、そこにはフィレモンへの励ましが書かれてありました。恐らく、フィレモンは孤独な信仰の戦いを続けていたはずですが、このパウロの励ましに、心が躍り、主への献身をさらに深くしたはずです。

あなたのお陰で

まず、パウロから「愛する協力者」と呼ばれたからです。時として、こんな小さな奉仕をして何になるのかと、空しく思うかも知れませんが、あなたはその働きを認められています。次に、「いつもあなたを思い起こし、祈っている」と言われたからです。あなたは忘れられていない。いつも祈られているのです。次に「あなたの信仰とそれに伴う愛の行為を聞いている」と言われたからです。自分の信仰はこれでいいのだ、このままこの道を進んで間違いはないのだとの確信を持つことは、私たちの毎日の歩みを強くします。加えて、その生き方が実を結んでいるのだと言われたからです。パウロからも「あなたのお陰で元気づけられた」と言われ、どんなに喜んだことでしょう。

主は、パウロの言葉を通し、同じように私たちを励ましてくださっている、そのことを覚えてください。

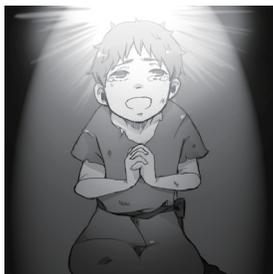
【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「キリスト・イエスの囚人
パウロと兄弟テモテから、

私たちの愛する協力者フィレモン、
…ならびにあなたの家の教会へ。…
私は、祈りの度に、あなたのことを
思い起こして、いつも私の神に感謝
しています。…主イエスに対するあ
なたの信仰と、すべての聖なる者た
ちに対するあなたの愛とについて
聞いているからです。…兄弟よ、私
はあなたの愛から多くの喜びと慰
めを得ました。聖なる者たちの心が、あなたの
お陰で元気づけられたからです。」(フィレモン
への手紙 1:1,2,4,5,7)



私は生活をし、周りを見ていると、自分だけ
がクリスチャンで、信仰の戦いをしなければなら
ないのだといつも思い、疲れてしまうことが
あります。また、自分の奉仕がどれ
だけ教会の役に立っているのだろ
うか、神さまに喜ばれているのだ
ろうかと考え、あまりの手応えの
なさを空しく思うことがあります。
恐らく、フィレモンもそのような思
いだったかも知れません。だから、
パウロの励ましはうれしかったは
ずです。私も主からそのように言われているこ
とを信じ、感謝します。御名によってお祈りい
たします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (48) 第3章8節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

- ◎協会共同訳 「それはあなたの体の癒やしとなり
あなたの骨の潤いとなる。」
- ◎口語訳 「そうすれば、あなたの身を健やかにし、
あなたの骨に元気を与える。」
- ◎新改訳 「それはあなたのからだを健康にし、あ
なたの骨に元気をつける。」

「体の癒し」

前回、自分の好き勝手に振る舞うことによっ
て、間違いなく、滅亡に向かっていくと申し上
げましたが、この滅びは、信仰的な、もう少し
見方を変えて、違う言葉で言うならば、心の問
題を指していて、心が神から離れていくに従っ
て闇が広がり、邪悪な思いに満ちていくことを
指しています。しかし、この句によって、心の
滅びが肉体にも影響してくるのだということが
わかります。

頭痛に苦しんでいたある人が、私のいるとこ
ろで、「サタンよ引き下がれ」と一生懸命に祈っ
ていました。私は「祈り方が違うよ」と言いま
した。癒やされるように求めるのは間違いでは
ありません。むしろ、熱心に祈るべきです。し
かし、病気はサタンのせいではありません。も
し自分を苦しめる病気のすべてがサタンによっ
て引き起こされているなら、病気の究極である

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成され
ています。31章から構成されていますが、あたかも短編
を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連
なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、
そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難し
いため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいた
いと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある
生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただき
たいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

人間を死に至らしめることもサタンの力による
ものになります。それなら、主の復活は何だっ
たのでしょうか。私たちは、死の力、病に打ち勝
つ力を主から与えられているのです。その信仰
に立つのが、神癒を含む四重の福音を強調する
ホーリネス信仰です。つまり、私たちは、たと
え病を得ていたとしても、そこに神の臨在を感
じて信仰的な勝利を得ていくことができるよう
にされているのです。神との交わりこそが、体
の癒し、つまり肉体の痛みに打ち勝つ力をもた
らす。それが本当の癒しなのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

レビ記第14章57節「いかなる場合に汚れ、いかなる場合に清いかを教えるためのものである。これは規定の病についての指示である。」◆なぜ神の民は荒野での40年の生活を生き延びることができたのか。伝染病などにかかればひとたまりもないのだが、それは、民たちに現代のような保健衛生の観念がなくても、神が戒めによってお教えくださっていたからにほかならない。神の御言葉は、霊的な養いだけでなく、身体的にもまた道徳的にも私たちを整えてくださる。すべての知恵はまず神の御言葉によってもたらされることを覚えたい。

●賛美 / 101 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

レビ記第15章31節「あなたがたはイスラエルの人々を汚れから遠ざけなさい。あなたがたの中にある私の住まいを汚して、彼らがその汚れの中で死なないためである。」◆肉体そのものは罪ではないが、このような肉体を持っていることを自覚すべきである。神はあくまでも聖であり、人間は神の聖に触れることなどできない汚れた存在である。このことがわからなければ、主イエスがこの世に来られたこと、十字架にかかって死んだことが考えられない恵みであることもわからない。御前に出ようではないか。

●賛美 / 102 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

レビ記第16章8節「アロンは雄山羊二匹のためにくじを引く。一つは主のためのくじ、もう一つはアザゼルのためのくじである。」◆罪の赦しには2つの面がある。罪そのものを贖うことで、その罪がなかったものとみなされること、そして、もう一つは罪を犯した後悔や記憶からの解放である。アザゼルは、山羊を荒野に追いやることで、罪の記憶をなくさせる意味をもつと考えられている。私たちは主イエスの救いが、過去の罪による後悔の体験にも及び、それらの後悔や記憶をきよくさせることに気づかねばならない。

●賛美 / 103 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

レビ記第17章11節「肉なるものの命、それは血にある。私はあなたがたの命の贖いをするために、祭壇でそれをあなたがたに与えた。血が命に代わって贖うのである。」◆主イエスの贖いの死は、十字架以外の方法であってはならなかった。もし残忍なローマが支配者でなければ、十字架刑はなかったかもしれない。ここにも神のご計画がある。この聖句通り、血を流さなければ贖いにならなかった。だから、主は血肉を持つ人となられたのだ。ヨハネも手紙で「この血によって」と言っている。私たちが聖餐を受けるごとに主の命による贖いを思い起こすべきだ。

●賛美／104 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

レビ記第18章3節「あなたがたは、住んでいたエジプトの地の風習に倣ってはならない。また私が連れて行くカナン地の風習に倣ってはならない。その掟に従って歩んではならない。」◆私たちは否が応でも周りの環境に影響を受ける。エジプトでの生活で偶像信仰への抵抗がなくなってしまうのだが、約束の地で待ち受けているカナン人も偶像を中心とした生活をしていて、それらは日常生活の習慣の中に潜んでいて、知らぬ間に偶像を受け入れてもいいという妥協を生み出す。「私はあなたがたの神、主である」との言葉を忘れてはならない。

●賛美／105 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

レビ記第19章2節「イスラエル人の全会衆に告げなさい。聖なる者となりなさい。あなたがたの神、主である私が聖なる者だからである。」◆ペテロは迫害の中にある信者に対し、この言葉を引用して励ましている。私たちはこの世に生きる者ではなく、神との交わりを求めながら、神の恵みに生きる者なのだ。この命令には、ただ神に目を注いで生きるようにとの意図がある。ここでいう「聖」とは、神に属する者との意味であり、聖人のようになることを命じているのではない。世にひかれるな。神に目を注ぎ、神の恵みを求めよ。

●賛美／106 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

レビ記第20章2節「イスラエルの人々であれ、イスラエルにとどまっている寄留者であれ、自分の子どもをモレク神に献げる者は必ず死ななければならない。この地の民はその者を石で打ち殺さなければならない。」◆人身供養はなぜ始まったのか。人が間違いをしたり、意に反することを行っていたら、神仏が災いをもたらすと考えたからだ。その怒りを静める方法の一つだった。この悪習は日本ではなかった。神は愛であり、報復もなさない。また殺人を禁止し、命を大切にされる方である。だからこそ、主イエスが私たちの身代わりとなられたのではないか。

●賛美／122 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやごでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ

26:30~56】

「ゲッセマネでの いのり」

(マタイ 26:42)

すぎこしの さいごの しょくじをなされたあと、イエスさまは でしたちと いっしょに エルサレムのみやこの むかいがわにある オリーブやまのゲッセマネ とよばれている ばしょに きました。

そこで でしたちのなかから ペトロと ヤコブ、ヨハネのきょうだいだけをつれて すこしはなれたばしょで いのりはじめられました。3にんに、「ここで すわっていなさい」といわれたあと、いのりはじめられたのですが、イエスさまが くるしむような いのりを されるのです。イエスさまは、3にんに、「わたしは しぬほど くるしい。ここをはなれず わたしとともに めをさましていなさい」といわれるのです。こんなイエスさまを みたことがありません。きぶんが わるくなられたのでしょうか。

いいえ、そうではありません。これからじゅうじかに かかられることを していた イエスさまは これから しによって、あがなうにんげんのつみの ふかさを かんじておられたのです。それだけ わたしたちの つみは ふかく、おおいのです。だから、ほんとうは わたしたちが その つみを せおって、しななければなりません。ところが、それを かみのひとりごイエスさまは わたしたちの すべての つみをせおって、みがわりになって しのうとされておられるのです。

ところが、いっしょに めをさましてほしいと たのんでいた3にんではは いつのまにか ねむってしまっていました。イエスさまがなぜ くるしんでおられるのか わかっていなかったのです。しかも、3がいもおこされたのに、すぐに ねむってしまっていました。「むかんしん」だったのです。

わたしたちは、イエスさまの じゅうじかの すくいに ねているような、むかんしんではいけないのです。

●かんがえてみよう

☆イエスさまは さいごのしょくじをしたあと、でしたちと どこにいきましたか。

(マタイ26:30)

☆イエスさまは ゲッセマネというところで なにをなされたのですか。

(マタイ26:36)

☆いのりのときに でしたちをつれていったのですが、イエスさまがいのっているあいだ でしたちは なにをしていましたか。(マタイ26:40)



なむむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

めをさましこいのる

さ			る	の	ま	め	い	て
		ま	を	め	し	さ		
る		め	て			し	を	ま
の	る			て	を		め	い
					い	の	る	
	め	い	ま	る				
	さ	る			て	い	ま	の
し	ま	の		さ	る			
い	を			ま	め			

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① つちたびのとみて
- ② ぜのべこだい
- ③ さかのこずき
- ④ ふうせつ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「優先」

今、観光地はどこもかしこも外国人旅行者で混んでいます。日本人が参戦するゴールデンウィークは、至る所で混雑が起こるでしょう。この辺なら間違いなく鎌倉です。予想では1日5万人が来訪するそうで、そのたびにまともに影響を受ける江ノ電は、2023年から、混雑対策として、鎌倉市とタッグを組み、江ノ電沿線の住民には住民等証明書を発行し、GWは優先的に乗車できるようにしたそうです。とにかく、ピークでは鎌倉駅に入場するのに

100m近くの長蛇の列ができるそうで、生活の足として使っている住民は助かります。ただ、それは駅への入場だけで、ホームでは並ぶ必要があり、そのため、何本か待つらしいです。

最近、人気遊園地、イベント施設などではお金を相当額支払えば優先権をもらえるサービスが増えていて、多少高くても利用する人が多いのだとか。そりゃそうです。2時間待つより5分で乗れたほうがどれだけいいかわかりません。

神さまが自分に優先権を与えてくださったことをダビデは「こんな私をあなたが御心にとめてくださるのはなぜですか」(詩編85)と言っています。あなたも神さまから、高価な優先パスをいただいているの、分かっていますか。

聖書ふれあい街歩き

●サルディス

5番目の教会はサルディスです。この町はリディア王国の首都として繁栄し、特に領土に流れている川は砂金が採れ、古くから金貨を鑄造していたことでも知られています。

町が最も栄えたのはBC7～6世紀で、クロイソス王が治めており、その莫大な富の中からギリシャ神殿に多くの寄付をしていました。しかし、BC546年、イスラエルの民たちが帰還を許される数年前、ペルシアのキュロス大王によって征服され、ペルシア帝国の属州の州都となりました。その後、アレクサンドロス大王による征服(BC334年)、BC133年にはローマ帝国の支配下に入りますが、町は繁栄を保ち続けていきます。重要な町として認められたのは、やはり金の産出があったからでしょう。

黙示録において、サルディスの教会は「生きているとは名ばかりで、実は死んでいる」と手厳しく指摘されています。恐らく、形式的な信仰を、かつての栄華を失った名高だけの町に例えているのかも知れません。

今も遺跡として巨大なアルテミス神殿跡があり、AD3世紀頃に建てられた80m×20mの小アジア最大級のシナゴグ跡も残されています。

ななめ聖書 先週のこたえ

す	だ	し	ら	で	わ	の	た	か
の	わ	た	し	だ	か	す	ら	で
か	で	ら	た	す	の	わ	だ	し
だ	か	わ	で	の	ら	た	し	す
た	ら	す	わ	し	だ	か	で	の
し	の	で	か	た	す	だ	わ	ら
わ	し	だ	す	か	で	ら	の	た
ら	た	か	の	わ	し	で	す	だ
です	の	だ	ら	た	し	か	わ	

- ①すぎこしのしょくじ
- ②わけてのむ
- ③ぶどうのみ
- ④わたしのち



会堂の隣

シラスとテモテがマケドニア州からやって来ると、パウロは御言葉を語ることに専念し、ユダヤ人に対して、メシアはイエスであると力強く証した。

しかし、彼らが反抗し、口汚く罵ったので、パウロは衣の塵を振り払って言った。「あなたがたの血は、あなたがたの頭に降りかかれ。私には責任がない。今後、私は異邦人のところへ行く。」

パウロはそこを去り、神を崇めるティティオ・ユストと言う人の家に移った。彼の家は会堂の隣にあった。

会堂長のクリスポは、一家を挙げて主を信じるようになった。また、コリントの多くの人も、パウロの言葉を聞いて信じ、洗礼(バプテスマ)を受けた。

(使徒言行録18:5~8)



現代の一般的なユダヤ人の会堂

【異邦人宣教】

パウロはコリントでもまず会堂に入り、旧約聖書に預言されていた救い主は主イエスであると説いていました。聖書を知っていることで、救いを説くには最も近道であると思っていたこと、さらにはパウロは、自身もそうであったように、神の民として選ばれた同胞ユダヤ人たちが、この救いに導かれなければならないのだと思っていたからでしょう。ところが、それまでも語ってきたものの、ユダヤ人たちのあまりのかたくなさに、彼は「今後、私は異邦人のところへ行く」と決断するのです。

パウロがダマスコの途上で回心を経験した際、パウロを導いたアナニアは迫害者であることに恐れを抱き、行くのをためらっていたのですが、その時、主から「あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らの前に私の名を運ぶために、私が選んだ器である。」(使徒9:15)と言われています。パウロもその後、回心の場面を振り返り、自分の口から、「私は、あなたをこの民と異邦人の中から救い出し、彼らのもとに遣わす」(使徒26:17)と語られたと証しています。そして、回心から少なくとも3年が経過してエルサレムに戻った際(ガラテヤ1:17~18)、パウロは神殿で祈っていた時に「主にお会いし…『行け。私があるを遠く異邦人のもとに遣わすのだ』」(使徒22:18、21)とはっきりと告げられたのでした。これを自らの使命として受け止め、その後の宣教の指針となっていきます。ですから、もともと「異邦人への宣教」に重点をおいていたわけで、使命に反していたわけでも、大きな方向転換でもありませんが、新しい町に着いてすぐに会堂に入って

いた、今までのやり方は、今後見られなくなっていきます。

【ユストの家】

会堂で語ることをやめたパウロは、信仰を持っていたティティオ・ユストの家で集会を始めることにしました。

ティティオ・ユストはギリシア人で、会堂の隣に住んでいました。会堂の隣であったことで、聖書を知り、信仰に導かれたのでしょうか。そして、パウロがその会堂で語った主イエスの救いを真摯に受け止め、本当の救いに預かったのです。ユダヤ人は、選民意識の強さや律法の厳守、特に割礼などの儀式的遂行が障壁となります。それを否定されると、神への不遜であるとみなし、攻撃の対象となるのですが、異邦人にはそれがありません。ですから、ユストも含む異邦人たちは、障壁がない分、受け入れやすかったはずで

す。会堂の隣で集会を開くのは、教会の隣に教会を建てるようなもので、日本では考えにくいのですが、ただ、お寺などは昔の政策の名残で「寺町」などが存在しますから、隣通しのお寺はよく見ることができます。韓国などは同じビルの中で1階も2階も、そして3階にも違う教会がテナントとして入っているなどといった例が珍しくありません(私には理解できませんが)。ただ、この場合、パウロはある意味、戦闘モードに入っていたのでしょうか。「おまえたちがそういう態度なら、俺も黙っちゃられない」というような気持ちだったかも知れませんが、その甲斐あって、会堂長のクリスポが一家をあけて信仰を持つようになったのでした。ユストの家がコリント教会として動き始めた瞬間です。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者合同記念礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

